

■（１１９）エープリルフールでニュース感覚を磨く!?

「若手女優がＡＫＢ総選挙に特別枠で立候補」。朝日新聞も半年前に記事で取り上げたニュースサイト「虚構新聞」の、２９日朝段階のトップ記事だ。風刺や皮肉を込めた偽記事で、世の中の関心を高めるが発信の狙い。震災の「奇跡の一本松」を全国に展開するという特ダネも流れていた。

来週４月１日はエープリルフール。欧米の新聞は、よく、うその記事で読者を楽しませている。過去には「フランスがロシアの食料援助にカエルを送っている」「金に困った国連が月面で不動産業を始める」……。援助先の経済事情や国連の財政事情を皮肉った「傑作」だった。堅いイメージの日本の新聞社も時々挑戦する。朝日新聞は１９９９年４月１日の朝刊で、政治家の人材難に困った首相が閣僚に外国人を登用するための法律案を国会に提案する、と偽のスクープを放った。当時の首相は、確認を求める記者たちからの質問に、「４月１日だろう」とかわした。競合新聞社の「東京湾で大油田発見」は秀作とされている。

読者からはおしかりもあったと、当時の記事は伝える。だが、今、どんなテーマを選んでどんな展開をすれば周囲が関心を持つか。その頭の訓練には、間違いなくなる（山）